



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 すてきナイスグループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8089 URL <http://www.suteki-nice.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 日暮 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 大野 弘

TEL 045-521-6111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	111,887	2.6	△1,280	—	△1,509	—	△2,042	—
29年3月期第2四半期	109,066	5.9	△1,055	—	△1,309	—	△1,723	—

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 △1,253百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △1,977百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△217.79	—
29年3月期第2四半期	△183.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	186,361	44,396	22.6	4,497.30
29年3月期	181,200	46,138	24.3	4,687.75

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 42,182百万円 29年3月期 43,972百万円

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、単元株式数を1,000株から100株に変更するにあたり、当社普通株式10株を1株にする株式併合を平成29年10月1日付で実施したため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金は「-」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は4円となり、1株当たり年間配当金は4円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	248,000	0.6	1,800	18.5	1,400	22.5	600	4.7	63.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	9,656,119 株	29年3月期	9,656,119 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	276,488 株	29年3月期	275,728 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	9,380,037 株	29年3月期2Q	9,380,981 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。また、合わせて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

- (1) 平成30年3月期の配当予想
- 1株当たり配当金
 - 期末 4円
- (2) 平成30年3月期の連結業績予想
- 1株当たり当期純利益(通期) 6円40銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、建築資材事業および住宅事業がともに堅調に推移したことなどから、1,118億87百万円（前年同期比2.6%増加）となりました。営業損失は12億80百万円、経常損失は15億9百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は20億42百万円となりました。

セグメント別売上高の内訳

(単位：百万円)

セグメント	部 門	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計年度
建築資材	建 築 資 材	82,684	81,794	169,229
住 宅	一 戸 建 住 宅	9,233	10,672	31,985
	マ ン シ ョ ン	6,473	7,856	21,256
	管 理 そ の 他	7,198	8,161	16,227
	計	22,905	26,690	69,468
そ の 他	そ の 他	3,476	3,402	7,713
合 計		109,066	111,887	246,410

【建築資材事業】

建築資材事業では、地震に強い家づくり、環境、健康、高齢者等に配慮した新築住宅およびリフォームに関する情報を幅広く発信する住宅総合展示会「住まいの耐震博覧会」や、取引先の受注拡大に向けたソリューションを提供する「ナイスサポートシステム」などを通じて、長期優良住宅やネット・ゼロ・エネルギー・ハウスをはじめ、国が推進するさまざまな施策に全国の主要取引先が取り組むための提案およびサポートの充実を図り、相互の信頼関係の強化に努めております。また、グループの総合力を生かして中・大規模木造建築物等の設計・施工分野への展開に注力するなか、これらの受注にとまなう建築資材全般の調達、物流、施工までを一貫して行う体制の強化を図っております。

これらの結果、本事業の売上高は817億94百万円（前年同期比1.1%減少）となり、営業利益は13億86百万円（前年同期比4.8%増加）となりました。

商品別売上高

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計年度
木 材	33,371	31,256	65,336
建 材 ・ 住 宅 設 備 機 器	49,312	50,537	103,892
合 計	82,684	81,794	169,229

【住宅事業】

一戸建住宅部門では、耐震性、省エネルギー対策、維持管理・更新の容易性、構造躯体の劣化対策等、長期優良住宅の認定基準に対し、いずれも最高等級の取得を標準とする企画型注文住宅「パワーホーム」と、東北・熊本の復興応援型住宅「フェニーチェホーム」の供給等を行っており、受注の拡大に向けた営業および施工体制の強化を図っております。当第2四半期連結累計期間における一戸建住宅の売上計上戸数は293戸(前年同期比18.1%増加)となり、売上高は106億72百万円(前年同期比15.6%増加)となりました。また、契約済未計上戸数は314戸(前年同期比22.2%増加)となりました。

マンション部門では、供給する分譲マンションをすべて免震構造とし、「Noblesse(ノブレス)」ブランドとして安全・安心で快適な暮らしの提案に努めております。当第2四半期連結累計期間におけるマンションの売上計上戸数は181戸(前年同期比31.2%増加)となり、売上高は78億56百万円(前年同期比21.4%増加)となりました。

管理その他部門の売上高は81億61百万円(前年同期比13.4%増加)となりました。

これらの結果、本事業の売上高は266億90百万円(前年同期比16.5%増加)となりました。営業損失は11億94百万円(前年同期は営業損失11億87百万円)となりました。

I 一戸建住宅・マンションの契約・売上計上戸数実績

(契約戸数実績)

(単位：戸)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増 減
一 戸 建 住 宅	338	378	40
マ ン シ ョ ン			
首 都 圏	221	88	△ 133
そ の 他	35	68	33
計	256	156	△ 100
合 計	594	534	△ 60

(売上計上戸数実績)

(単位：戸)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前連結会計年度
一 戸 建 住 宅	248	293	831
マ ン シ ョ ン			
首 都 圏	120	123	434
そ の 他	18	58	58
計	138	181	492
合 計	386	474	1,323

II 販売用不動産の内訳

契約済を含む「完成販売用不動産」は、前連結会計年度末に比べ 10 億 19 百万円減少しました。建築中の「仕掛販売用不動産」は、マンションの完成・引渡しが進んだことにより、前連結会計年度末に比べ 4 億 80 百万円減少しました。また、建築着工前の「開発用不動産」は前連結会計年度末に比べ 18 億 74 百万円増加しました。

「販売用不動産」合計では前連結会計年度末に比べ 3 億 74 百万円増加しております。
(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増 減
完成販売用不動産	8,902	7,883	△ 1,019
仕掛販売用不動産	9,412	8,932	△ 480
開発用不動産	24,335	26,209	1,874
合 計	42,650	43,025	374

【その他の事業】

その他の事業の売上高は 34 億 2 百万円（前年同期比 2.1%減少）となり、営業利益は 31 百万円（前年同期比 6.7%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ 51 億 60 百万円増加し、1,863 億 61 百万円となりました。現金及び預金は減少しましたが、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ 69 億 2 百万円増加し、1,419 億 65 百万円となりました。支払手形及び買掛金は減少しましたが、借入金が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ 17 億 41 百万円減少し、443 億 96 百万円となりました。株高にともなうその他有価証券評価差額金は増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上や配当金の支払いなどによる利益剰余金の減少などによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ 12 億 55 百万円減少し、183 億 75 百万円となりました。

営業活動による資金の減少は、103 億 59 百万円（前年同期比 59 億 6 百万円の支出減少）となりました。主な内訳は、仕入債務の減少 35 億 6 百万円、たな卸資産の増加 12 億 78 百万円、売上債権の増加 32 億 32 百万円、税金等調整前四半期純損失の計上 16 億 33 百万円です。

投資活動による資金の減少は、12 億 8 百万円（前年同期比 2 億円の支出増加）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出 8 億 30 百万円です。

財務活動による資金の増加は、102 億 22 百万円（前年同期比 71 億 65 百万円の収入減少）となりました。主な内訳は、短期借入金の増加 75 億 35 百万円、長期借入れによる収入 93 億 50 百万円、長期借入金の返済による支出 57 億 26 百万円、社債の償還による支出 4 億 20 百万円、配当金の支払額 3 億 74 百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 30 年 3 月期の連結業績予想につきましては、平成 29 年 5 月 12 日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,809	18,554
受取手形及び売掛金	29,989	33,224
商品	7,977	8,755
販売用不動産	42,650	43,025
未成工事支出金	1,493	1,620
その他	6,907	7,886
貸倒引当金	△39	△36
流動資産合計	108,789	113,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,288	11,496
土地	32,352	32,396
その他(純額)	4,230	3,871
有形固定資産合計	47,871	47,764
無形固定資産	1,096	1,088
投資その他の資産		
投資有価証券	15,378	16,396
その他	8,283	8,302
貸倒引当金	△218	△220
投資その他の資産合計	23,443	24,478
固定資産合計	72,411	73,332
資産合計	181,200	186,361
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,544	34,065
短期借入金	33,921	44,004
1年内償還予定の社債	840	2,840
未払法人税等	609	591
引当金	1,062	983
その他	8,810	8,595
流動負債合計	82,788	91,080
固定負債		
社債	2,640	220
長期借入金	35,630	36,705
退職給付に係る負債	1,132	1,050
資産除去債務	78	40
その他	12,792	12,868
固定負債合計	52,274	50,884
負債合計	135,062	141,965

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,069	22,069
資本剰余金	15,665	15,672
利益剰余金	3,778	1,317
自己株式	△674	△675
株主資本合計	40,839	38,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,666	3,369
繰延ヘッジ損益	△22	13
土地再評価差額金	166	166
為替換算調整勘定	△507	△492
退職給付に係る調整累計額	831	742
その他の包括利益累計額合計	3,133	3,799
新株予約権	1	1
非支配株主持分	2,164	2,212
純資産合計	46,138	44,396
負債純資産合計	181,200	186,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	109,066	111,887
売上原価	95,014	97,130
売上総利益	14,051	14,757
販売費及び一般管理費	15,107	16,037
営業損失(△)	△1,055	△1,280
営業外収益		
受取利息	13	29
受取配当金	130	135
その他	196	185
営業外収益合計	340	349
営業外費用		
支払利息	550	520
その他	44	58
営業外費用合計	594	579
経常損失(△)	△1,309	△1,509
特別利益		
固定資産売却益	-	4
投資有価証券売却益	-	7
特別利益合計	-	11
特別損失		
固定資産除却損	8	6
その他	59	128
特別損失合計	67	135
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,377	△1,633
法人税、住民税及び事業税	320	435
法人税等調整額	△60	△147
法人税等合計	260	288
四半期純損失(△)	△1,637	△1,921
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	121
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,723	△2,042

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,637	△1,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65	704
繰延ヘッジ損益	△6	35
為替換算調整勘定	△338	15
退職給付に係る調整額	△60	△88
その他の包括利益合計	△339	667
四半期包括利益	△1,977	△1,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,064	△1,376
非支配株主に係る四半期包括利益	87	123

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,377	△1,633
減価償却費	855	881
のれん償却額	5	69
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△184	△78
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	62	△71
受取利息及び受取配当金	△143	△164
支払利息	550	520
持分法による投資損益(△は益)	△42	△15
有形固定資産除売却損益(△は益)	8	2
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△7
売上債権の増減額(△は増加)	126	△3,232
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,835	△1,278
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,750	△3,506
その他	769	△1,132
小計	△14,966	△9,647
利息及び配当金の受取額	142	161
利息の支払額	△491	△473
法人税等の支払額	△950	△399
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,265	△10,359
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,047	△830
有形固定資産の売却による収入	500	5
投資有価証券の取得による支出	△629	△15
投資有価証券の売却による収入	-	28
貸付けによる支出	△1,223	△1,118
貸付金の回収による収入	1,424	787
その他	△31	△65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,007	△1,208
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	11,417	7,535
長期借入れによる収入	13,420	9,350
長期借入金の返済による支出	△5,533	△5,726
社債の償還による支出	△1,420	△420
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△375	△374
非支配株主への配当金の支払額	△80	△64
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△3
その他	△40	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,387	10,222
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	52	△1,343
現金及び現金同等物の期首残高	19,726	19,630
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	11	87
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,790	18,375

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建築資材	住 宅	計		
売 上 高					
外部顧客への売上高	82,684	22,905	105,589	3,476	109,066
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,492	161	2,653	1,903	4,556
計	85,176	23,066	108,242	5,379	113,622
セグメント利益又は損失(△)	1,322	△ 1,187	135	33	168

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事事業、ソフトウェア開発・販売事業、ホームセンター事業及び一般放送事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	135
「その他」の区分の利益	33
セグメント間取引消去	88
全社費用(注)	△ 1,313
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△ 1,055

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建築資材	住宅	計		
売上高					
外部顧客への売上高	81,794	26,690	108,484	3,402	111,887
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,902	163	3,066	1,838	4,904
計	84,696	26,854	111,551	5,241	116,792
セグメント利益又は損失(△)	1,386	△ 1,194	191	31	222

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事業、ソフトウェア開発・販売事業及び一般放送事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	191
「その他」の区分の利益	31
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△ 1,503
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△ 1,280

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。